

聖霊降臨節第16 主日礼拝

《主日朝礼拝式次第》

【入祭の部】

前 奏 (黙祷)
「聖なるみ神は」(讃美歌 21 の 2)
J.G. ヴァルター作曲

あいさつ
讃 美 讃美歌 21/78 番
開会の祈り
交読詩篇 詩編 84 篇 9~13 節

【み言葉の礼拝】

聖 書
✦使徒言行録 20 章 7~11 節
✦ヨハネによる福音書 6 章 39~51 節
(新約 P.253、P.176)
応 答 唱 讃美歌 21/85 番
教 話 井上隆晶牧師
『終わりの日の復活』

使徒信条

【聖餐礼拝】

奉 献 讃美歌 21/81 番
教会の祈り (連祷)
平和の挨拶
讃 栄 讃美歌 21/83 番
主のいのり
陪 餐

【応答と派遣と祝福】

讃 美 讃美歌 21/321 番
感謝の献物
栄光の讃美 讃美歌 21/24 番
派遣の言葉 井上隆晶牧師
祝福の祈り
後 奏 (黙祷)
「扉を開きて」(讃美歌 21 の 3)
K・ツイーシャング作曲

【本日の礼拝奉仕者】

司式補佐 屋宮英男
奏 楽 飯田雅子
献金当番 ウィル・ピーヴィ
受付当番 勝見 仁

【本日の予定】

◇教会学校 (朝 9 時 30 分)
・お話し: 小坪英恵
◇讃美歌練習 (礼拝後)
◇合同祈祷会 (礼拝後)
◇定例役員会 (午後 1 時)

【今週の教会での集会のご案内】

◇朝の祈り
・9月3日(火) 午前9時
・9月6日(金) 午前9時
◇英会話グループ
・9月5日(木) 午後7時30分

【次週主日9月8日のご案内】

◇教会学校礼拝 (午前9時30分)
・お話し: 井上隆晶牧師
◇主日朝礼拝 (午前10時30分)
・聖 書
✦使徒 21: 1~24 (新約 P.256)
✦ヨハネ 8: 42~47 (新約 P.182)
・教 話 井上隆晶牧師
『神が行われたこと』
・讃美歌 21 358、85、512
・交読詩篇 詩編 85: 5~14
・司式補佐 澤田昌人
・奏 楽 鹿野幸枝
・献金当番 菱田朱美
・受付当番 小坪英恵
◇讃美歌練習 (礼拝後)
◇合同祈祷会 (礼拝後)

聖 句

「わたしをお遣わしになった方の御心とは、わたしに与えてくださった人を一人も失わないで、終わりの日に復活させることである。」

(ヨハネ 6 章 39 節)

【諸報告・個人消息】

- ①《今週の井上牧師の予定》: 9月2日(月) 午後1時30分「大宮保育園昼の礼拝、採用試験面接」、9月4日(水) 午後2時「大阪YWCA 聖書を学ぶ会」
- ②《9月の行事のお知らせ》
■9月1日(日) 午後1時「定例役員会」
■9月4日(水) 午後2時「大阪YWCA 聖書を学ぶ会」(梅田本館: 参加費 500 円)
■9月17日(火) 午前10時「心の病の勉強会」パーソナリティ障害について学んでいます。どなたでも参加できます。参加費 500 円。
■9月30日(月) 午後1時30分「シャロン千里礼拝」
- ③先週の礼拝にナンシー・ピーヴィさんが初めて参拝されました。また、教会学校に初めて同志社香里高2年の伊藤魁(かい)くん、秦会都(あいづ)くんが参拝されました。感謝します。
- ④夏期特別献金を献げましょう。献金目標は 16 万円です。ご協力をお願いします。
- ⑤【先週の集会統計】

日	集会	男子	女子	大人	計	礼拝献金
25	CS礼拝	2	1	5	8	¥1,460
	集会	男	女	子ども	計	礼拝献金
25	朝の礼拝	11	18	4	33	¥19,304
27	朝の祈り	2	3	-	5	
30	朝の祈り	1	3	-	4	

⑥【8/25の献金報告】

[月定] 屋宮英男 (計 10,000 円) [夏期特別] 鹿野幸枝 (計 10,000 円) [感謝] 屋宮英男 (計 2,000 円) [互助] 屋宮英男、小淵公子、山千代誠子 (計 3,000 円)
※ 皆様の献金に感謝します。



【先週の説教要旨の続き】

いのです。キリスト抜きで考えるなら、単なる格言になります。神の目には存在するもので無駄なものは何一つなく、無駄なことはありません。悪や死でさえも神は用いて善を生みだされます。イエス様ご自身が、何の役にも立たないようなもの、足りない私たちを用いて、神の業に変えることが出来るから感謝なのです。
聖書に「神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということ、私たちは知っています。」(ローマ 8:28) とか、「あなたは善なる方、すべてを善とする方。」(詩編 119:68) という言葉があります。神は私たちと共に働いてすべてを善とされる方です。だからこそ、私たちはどんなことでも感謝することができるのです。
風邪を引くと気力がなくなります。何もする気が起きないのです。しかも、信仰心も湧いてこないのです。それどころか何をしてもどうせ変わらないし、バカバカしいと思えてくるのです。でも、ふと思ったのです。自分に信仰がなく、気力がなくても、この私を選んだのはイエス様なのです。信仰の創始者は私ではなく、イエス様なのです。私が始めたのなら、歯を食いしばって私が頑張らなければなりません、イエス様が始められたのなら、イエス様がこんな私にまた何かを始められるだろう。それまで待とう。落ちる所まで落ちて、そこで待っている者こそ本物だろう、キリストが何をなさるのか待ってみようと思えたのです。
神はどんな時にも働いておられます。神は私に信仰がない時も、働いておられるし、寝ている時もその業を進めておられます。いやむしろ、そっちの方が大きいのです。夜昼寝起きしている内に種は芽を出すのです。人間の業が終わった時、神の業は輝き出します。私たちの上に行われる神の働きというものを信じて、自分の不信仰も、無力さも、小ささもすべて任せましょう。栄光はキリストに、恥は私にです。